

# やまぐちっ子学力向上だより

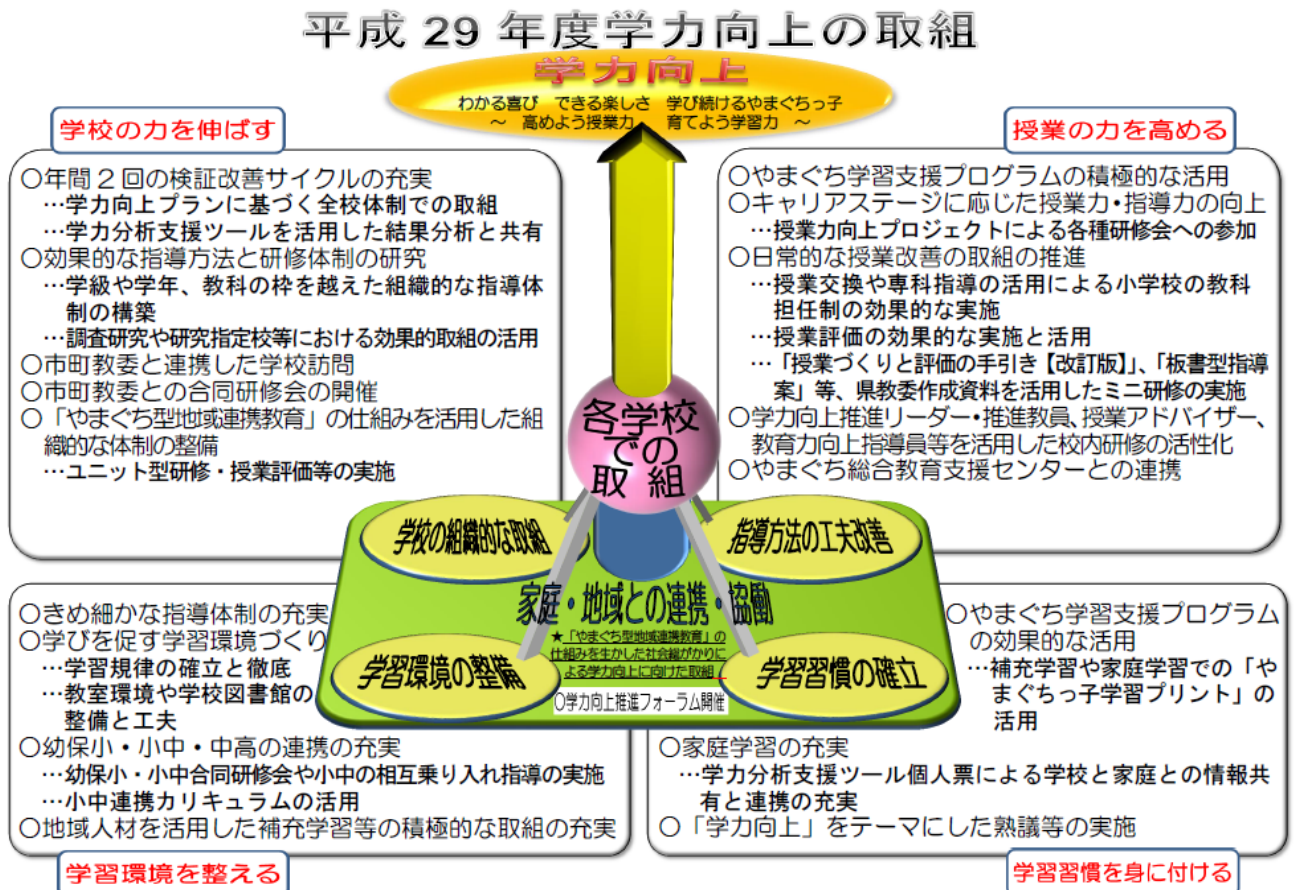
第 8 5 号 H29.4.12  
山口県教育庁義務教育課

## 平成29年度学力向上の取組について

～ 「確かな学力」の育成に向けて、これまでの取組の徹底を図ることが重要です ～

山口県教育委員会では、学力向上に向けて、「学校の組織的な取組」「指導方法の工夫改善」「学習環境の整備」「学習習慣の確立」の4つの重点取組事項、それら全ての基盤となる「家庭・地域との連携・協働」を引き続き推進し、市町教育委員会と一体となって、各学校の取組を支援します。

【平成29年度 山口県の学力向上の取組】



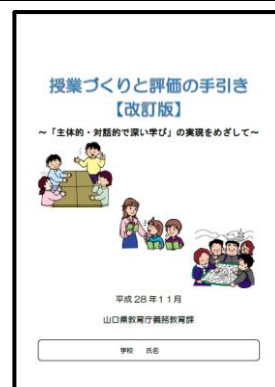
学力向上に関する取組の中で、引き続き重視したいのは、「**日常的な授業改善**」です。

山口県教育委員会では、授業改善の手掛かりとなる資料の作成・配付や、各種研修会の開催を通して、各学校における取組を支援していきます。今年度の支援のポイントを紹介します。

- これまで提供してきた資料等の効果的な活用を促進する
- 参加者が主体的に取り組むことができる研修会を開催する

## ○ これまで提供してきた資料等の効果的な活用を促進する

義務教育課では、平成28年11月に「授業づくりと評価の手引き 基礎編」の見直しを行い、改訂版を作成しました。この手引きは、授業づくりと評価の基本的な内容を整理して示すとともに、次期学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」についても紹介しています。この手引き以外にも、義務教育課では、全国学力・学習状況調査の結果についてまとめた資料や、『授業改善に係る資料<平成28年3月作成>』『学力向上支援資料<平成28年6月作成>』など、様々な資料を作成し、各学校に提供しています。



**これらの資料は、各学校における日々の授業改善に役立てられて初めて意味をもちます。**それぞれの資料には、授業改善のヒントとなる情報がたくさん掲載されています。各種資料に書かれている内容を基にしながら、授業における教員の働きかけを改善するなど、学校や地域の実情に応じた取組を進めていただきたいと思います。

各学校における日々の授業改善に役立てられて初めて意味をもちます。それぞれの資料には、授業改善のヒントとなる情報がたくさん掲載されています。各種資料に書かれている内容を基にしながら、授業における教員の働きかけを改善するなど、学校や地域の実情に応じた取組を進めていただきたいと思います。

## ○ 参加者が主体的に取り組むことができる研修会を開催する

義務教育課では、昨年度からキャリアステージを意識した研修会を開催しています。各年代で、参加者のニーズや求められる役割、同僚教職員との関わり方などは異なることから、キャリアステージごとの研修会を実施することが必要だと考えるからです。今年度は更に充実させ、次のような研修会を開催する予定です。

- \*指導主事パワーアップ研修 → 市町教育委員会指導主事を対象
- \*ミドルリーダーレベルアップ研修 → 学力向上推進教員・推進リーダー、中堅教員を対象
- \*管理職リーダーシップアップ研修 → 新任教頭・校長を対象
- \*ベテラン教員ガイダンスカアップ研修 → ベテラン教員を対象
- \*若手教員スキルアップ研修 → 教職経験4~5年教員を対象

これらの研修会では、次期学習指導要領に関わる情報提供も積極的に行っていきます。参加者は、**研修の成果を自分の教師力の向上につなげるとともに、校内研修で報告するなど他の教員へも積極的に普及させ、学校全体の授業改善の取組に反映させていただきたい**と思います。

「**日常的な授業改善**」の成果が実感できるまでには、時間がかかります。あきらめずに、全校体制で具体的な取組を徹底して行いましょう。

それぞれの学校に通う子どもたちが、「わかる楽しさ」や「できる喜び」を実感する毎日を送ることができるよう、各学校で学力向上に関する取組を進めていきましょう。

## 準備をよろしく願います ~全国学力・学習状況調査~

4月18日(火)に、全国学力・学習状況調査が実施されます。子どもたちが普段の力を十分発揮できるよう、各学校で事前に実施体制を確認し、滞りなく調査が実施されますようよろしくお願いいたします。

- 落ち着いた雰囲気の中で調査当日を迎えられるよう、学習環境の整備に努めましょう。
- 春休みの宿題の回収、事後指導を通して、学習内容の積み残しを解消しましょう。
- 調査後の採点、学力分析支援ツールへの入力と結果分析などを、組織的に行いましょう。

<学力分析支援ツールへの入力完了：5月12日(金)>

